

2023年7月7日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
BIM/CIM 成果発表会を開催
～BIM/CIM を活用し、最適化・総合化を図り、チャレンジし続ける企業へ～

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、令和5年7月6日に「BIM/CIM 成果発表会」を開催いたしました。

国土交通省は令和5年度から公共事業で BIM/CIM 原則適用を始めており、従来に増して BIM/CIM を活用した事業課題の解決や事業を通貫したデータマネジメントに取り組む必要があります。

本発表会は、同社が直近1年間で取り組んだ BIM/CIM の高度活用事例を報告し、BIM/CIM 及びこれに関連した DX 技術の活用方法、より高い付加価値の提供ノウハウを共有すべく、同社の役職員約 330 名が参加して開催されました。

本発表会を通じて、同社の BIM/CIM 活用の全体底上げと、BIM/CIM を活用している技術者が見える化し、人的ネットワークの構築に繋げることを狙っています。

発表会では、同社が直近1年間で取り組んだ約 160 件の BIM/CIM 活用業務の中から、構造分野、道路分野、地下構造分野、河川分野、砂防分野の 5 分野・8 件が報告されました。

具体的には、5D モデルや 3 次元管内図など BIM/CIM を事業マネジメントに活用した事例や、ハンディ LP を用いたオーバーハング地形のモデル化や I 期線の竣工データから 3 次元地盤モデルを作成するなど、複雑な地形や地質に対するきめ細かな検討・設計に BIM/CIM を活用した事例などが報告されました。

講評において、野崎社長は、「本日の発表会では、3 つのキーワードを共有したい。一つ目は、“最適化”。本日の発表事例をベストプラクティスとして資料・人的ネットワークを共有してほしい。二つ目は、“総合化”。多くの利害関係者を BIM/CIM で総合的にマネジメントする、ライフサイクルとしての総合化、3D から時間・コストを加えた 5D とした総合化に BIM/CIM を活用できることを共有した。三つ目は、“チャレンジ”。同社の経営計画の一部に、各事業部が策定している DX 戦略があり、BIM/CIM はその中の一つである。2030 年に向かってどのように DX 戦略を実行していくのか、その戦術を共有しつつ、チャレンジを繰り返して欲しい。そのチャレンジによって、日々の成長を実感しながら、成果を創出して欲しい。」と締めくくりました。



事務所に山積みのBIMCIMデータを3D管内図に集約。
所内マネジメントへの活用を試行。⇒CesiumベースのLandlogViewerを活用。
(統合可能な情報) 用地取得状況/関係機関や地元住民との調整/施工状
況/予算執行状況/施設整備完成後の施設 等

「3次元管内図を用いた事業マネジメント」の発表

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
E-mail:webmaster@oriconsul.com
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL:<https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤、丸山、門司